

## 取組6 市民スポーツの充実

### 取組の評価 2.3 一部に改善を要する

< 取組6の基本方針 >

- 1 生涯スポーツの推進
- 2 競技スポーツの推進
- 3 市民や地域のスポーツ活動の支援
- 4 公共スポーツ施設の充実
- 5 特色あるスポーツ活動の推進

【取組の目的】市民が気軽にスポーツに親しむことができるよう、生涯スポーツの普及と市民や地域の主体的なスポーツ活動を推進します。

## 『取組』に係る社会の動向・本市の現状（主な取組）

- 【社会の動向】 ◎スポーツ振興と地域活性化を目的とし、平成17年度より10年間毎年500万円の助成が受けられる「スポーツ拠点づくり推進事業」制度が創設された。平成23年3月の東日本大震災の影響により、平成23年度からは、助成金が400万円となった。平成26年度には、10年間の助成期間が終了するが、自立的に大会開催を継続する体制への円滑な移行ができるよう「スポーツ拠点づくり自立促進事業」が創設された。
- 【本市の現状（主な取組）】 ◎市民の健康に対する意識の高まりとともにスポーツに取り組む市民が増え、新しいスポーツ分野のニーズも増加している。「第2次袋井市スポーツ振興計画（平成23年度～平成27年度）」に基づき着実に事業を遂行していくとともに、「今後のスポーツ施設整備のあり方について」により、施設の整備を計画的に進めていく。  
◎袋井市民体育館は昭和48年5月に建設以来40年余が経過し老朽化が進んでいるため、多様化するニーズに対応した利用しやすく、各種市民大会の開催などスポーツを通じた市民交流の活性化を図る機能や災害等の避難拠点としての機能をもつ施設整備を進めていく。

### 『取組指標』の分析と評価結果

番号	指標名	項目	H24	H25
1	★定期的(週1回以上)にスポーツを行っている人の割合【%】	目標値	49.0	51.0
		実績値	41.9	41.3
		達成率 伸び率	85.5 ▲1.1	80.9 ▲1.4
		評価	1	1
2	市内の運動施設の利用者数(エコバは除く)【人】	目標値	659,000	664,000
		実績値	719,882	690,907
		達成率 伸び率	109.2 3.9	104.0 ▲4.0
		評価	4	3
3	全国スポーツ大会の出場者数(激励金交付件数)【件】	目標値	77	82
		実績値	86	59
		達成率 伸び率	111.6 2.3	71.9 ▲31.3
		評価	4	1
4	ウォーキングイベントの参加者数(市内在住者のみ)【人】	目標値	4,775	4,850
		実績値	3,589	3,222
		達成率 伸び率	75.1 ▲24.2	66.4 ▲10.2
		評価	1	1

★印の指標は市民意識調査結果による 評価結果の平均値(A) **1.5**

＜評価基準＞

- 4:達成率 ≥ 100%・前年比伸び率 ≥ 0% 3:達成率 ≥ 100%・前年比伸び率 < 0%  
2:達成率 < 100%・前年比伸び率 ≥ 0% 1:達成率 < 100%・前年比伸び率 < 0%

### 『取組』の有効性・必要性・緊急性の評価結果

評価項目	H25	備考欄
<b>有効性</b> 4. 想定どおりの成果 3. 概ね想定どおりの成果 2. 一定の成果 1. 想定した成果なし	<b>3</b>	◎ スポーツ推進委員会の自主事業である「親子スポーツ教室」をはじめ、フーバなどの「ニュースポーツ講習会」や「親子グラウンドゴルフ体験交流会」などは、市民の生きがいと健康づくり、スポーツへの動機づけなど有効な事業である。 ◎ 身近なスポーツ施設(体育館、グラウンドなど)として利用できる学校運動施設は、スポーツ少年団や地域住民の継続的な運動を支える施設として有効である。
<b>必要性</b> 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	<b>3</b>	◎ 学校運動施設やコミュニティ施設などは、市民にとって身近なスポーツの場として定着しており、利用者に安心・安全な施設利用をしていただくために継続して維持管理を実施する必要がある。 ◎ 各種スポーツ大会の開催は、市民のスポーツへの動機づけや豊かな心と元気な体を作りやすい日常生活を送るために必要である。
<b>緊急性</b> 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	<b>1</b>	◎ 公共スポーツ施設の老朽化が進んでいるため、安全に施設利用できるよう、施設点検を日常的に行うとともに、計画的に修繕していく必要がある。 ◎ 屋内スポーツ施設としてだけでなく、災害時における防災機能を持つ施設として、PFI・PPP制度導入の可能性調査を含め、整備推進していく。

評価結果の平均値(C) **2.3**

＜指標に影響を与えた主な取組、要因＞

◎運動施設の利用者数が若干、減少傾向にあるため、原因と思われる老朽化による使い勝手が悪い施設を優先的に整備していく。

### 『主要事業』に係る事業評価表の評価結果

番号	主要事業名	事業評価表の評価結果			
		有効性	効率性	廃止の影響	
1	風見の丘施設管理運営事業	3	3	4	
2	スポーツ推進委員活動事業	3	3	4	
3	各種スポーツ教室・大会開催事業	3	2	3	
4	全国ジュニアエアロビック大会開催事業	3	3	4	
5	エアロビック普及事業	3	3	3	
6	総合型地域スポーツクラブ支援事業	3	3	3	
7	自然体験スポーツ教室委託事業	3	3	3	
8	静岡県市町対抗駅伝競走大会委託事業	4	4	4	
9	スポーツ選手激励・指導者養成事業	3	3	3	
10	エコバ活用補助事業	3	3	3	
11	袋井市スポーツ協会運営補助事業	3	3	4	
12	家族で楽しむスポーツ推進事業	3	3	1	
13	ウォーキング普及事業	3	2	3	
14	東海道とまん中ふくろい ツーデーウォーク開催事業	3	3	3	
15	学校運動施設運営事業	4	3	4	
16	学校運動施設維持管理事業	4	3	4	
17	市内公共運動施設運営事業	4	3	4	
18	市内公共運動施設維持管理事業	3	3	4	
評価結果の平均値(B)		<b>3.2</b>	3.2	2.9	3.4

## 『取組』の総合評価と今後の展開方向

取組の評価					
2.3	一部に改善を要する	各評価結果の平均値	取組指標の評価結果(A)	有効性等の評価結果(C)	主要事業の評価結果(B)
			1.5	2.3	3.2

＜評価基準＞

- 4 ~ 3.6 : 順調 3.5 ~ 3 : 概ね順調  
2.9 ~ 2 : 一部に改善を要する 1.9 ~ 1 : 全体的に改善を要する

番号	取組の基本方針	H24	H25	今後の展開方向
1	生涯スポーツの推進	→	→	各種スポーツ教室をはじめ、クラウンメロンマラソンや市駅伝大会の開催は、競技力を高めるスポーツの振興を図るとともに、ニュースポーツやウォーキングなどの事業は、市民の健康づくり、体力づくりを支援し、一人でも多くの方が運動にふれ合うよう推進していく。
2	競技スポーツの推進	→	→	スポーツ協会や各種競技団体と連携して、スポーツクリニックを開催したり、ランニングキッズやジュニアエアロビック選手育成を支援したりすることで、トップアスリートの育成・スポーツ指導者への支援等を推進していく。また、トップアスリートによる講習会の開催や優秀なスポーツ選手等を顕彰し、意欲の向上を図っていく。
3	市民や地域のスポーツ活動の支援	→	→	市民にニュースポーツ等が普及し、日常において気軽にスポーツに取り組んでもらうことで、スポーツの推進をはじめ、市民の健康増進、地域交流やコミュニティのさらなる推進を図っていく。
4	公共スポーツ施設の充実	↗	↗	市民の生涯にわたるスポーツ活動や健康づくり活動を推進するため、多様化する市民のニーズに対応した利用しやすい施設整備を進めるとともに、『総合体育館』の整備を進めていく。また、利用者の安心・安全を第一に、指定管理者等と連携して、サービスの向上と効率的な管理運営を行っていく。
5	特色あるスポーツ活動の推進	→	→	袋井エアロビック協議会の協力を得ながら、「エアロビック」や「スローエアロビック」を推進し、健康づくりの促進につなげるよう取り組んでいく。また、東海道五十三次とまん中ふくろいウォークやウォーキングキャラバンなどのウォーキングイベントを継続的に開催するとともに、ノルディックウォークの普及も図っていく。

＜展開方向＞

拡充(順調)



拡充(改善必要)



継続推進

縮小

